

【Ubuntu】インストールマニュアル（仮）

このマニュアルは、以下のソフトウェア、パッケージ等をインストールするためのものです。インストールスクリプト間に依存関係がありますので、スクリプトの実行順序にはご注意ください。（2016年1月22日時点）

推奨環境

以下の環境を推奨とする。

項目	推奨環境
OS	Linux Ubuntu 14.04
メモリ	4GB

構築環境について

（現時点では）スクリプトを実行すると、以下の例の様にホームディレクトリに作成されたKyotoPJというフォルダ内で作業が行われる。

（例）各作業フォルダの例

```
KyotoPJ/
├─ boost
│   ├── boost_1_47_0
│   └─ boost_1_47_0.tar
├─ cmake3.4.1
│   ├── cmake-3.4.1
│   └─ cmake-3.4.1.tar
├─ farsight
│   ├── farsight-build
│   ├── farsight-data
│   └─ farsight-src
├─ fftw
│   ├── fftw-2.1.5
│   └─ fftw-2.1.5.tar
├─ itk4.8
│   ├── InsightToolkit-4.8.2
│   ├── InsightToolkit-4.8.2-build
│   └─ InsightToolkit-4.8.2.tar
├─ mitk2015.05.2
│   ├── mitk2015.05.2-src
│   └─ mitk_test
├─ qt5.5.1
│   └─ qt-opensource-linux-x64-5.5.1.run
├─ test_for_qt_vtk_itk
│   ├── build
│   ├── image
│   └─ src
├─ vtk6.2
│   ├── VTK-6.2.0
│   ├── VTK-6.2.0-build
│   └─ VTK-6.2.0.tar
└─ vx1
    ├── vx1-build
    └─ vx1-src
```

スクリプトについて

格納されているスクリプトについての説明です。スクリプト間に依存関係がありますので、「インストール順序」に記載されている 数字の若いものから順にインストールして下さい。

インストール順序	ファイル名	内容
1	download_qt5_installer.sh	Qt (5) のインストーラーのダウンロードスクリプト
2	install_cmake3.4_ubuntu.sh	Cmakeのインストールスクリプト
3	install_automake1.15_ubuntu.sh	Automakeのインストールスクリプト
4	install_pyenv_ubuntu.sh	pyenvのインストールスクリプト
5	download_boost_ubuntu.sh	Boostのダウンロードスクリプト
6	install_vxl_ubuntu.sh	VXLのインストールスクリプト
7	install_vtk6.2_with_farsight_option_ubuntu.sh	VTk (6.2) のインストールスクリプト
8	install_itk4.8_with_farsight_option_ubuntu.sh	ITK (4.8) のインストールスクリプト
9	install_mitk2015.05.2_ubuntu.sh	MITK (2015.05.2) のインストールスクリプト
10	install_graphillion_mac_ubuntu.sh	Graphillionのインストールスクリプト
11	install_libmesh_ubuntu.sh	libMeshのインストールスクリプト
12	download_dgpdec_ubuntu.sh	dgpdecのダウンロードスクリプト

スクリプトの実行方法

スクリプトの実行は、スクリプトの格納ディレクトリにて

```
sh ./install_sample_script.sh
```

の形式で実行する。

[注意]Qtインストーラーの利用について

Qtインストーラースクリプトを実行すると、以下のようにKyotoPJ内のフォルダに、.run形式の実行ファイルが生成される。

```
KyotoPJ/
├─ qt5.5.1
│   └─ qt-opensource-linux-x64-5.5.1.run
```

これを、Ubuntu内terminalにより実行し、画面に表示されるインストーラーの指示に従いインストールする。ここで、Qtのインストール先を問われるが、（おそらくデフォルトの）ホームディレクトリ直下を指定すること。

つまり、インストール後は以下の様に、KyotoPJフォルダと同レベルの位置にインストールされるはずである。

```
/home/watanabe ←ホームディレクトリ（例）
├─ Desktop
├─ Documents
├─ .
├─ .
├─ .
├─ KyotoPJ ←作業ディレクトリ
├─ .
├─ .
├─ .
└─ Qt5.5.1 ←QtインストーラーによりインストールされたQtフォルダ
```